

美瑛町の教育

令和5年度

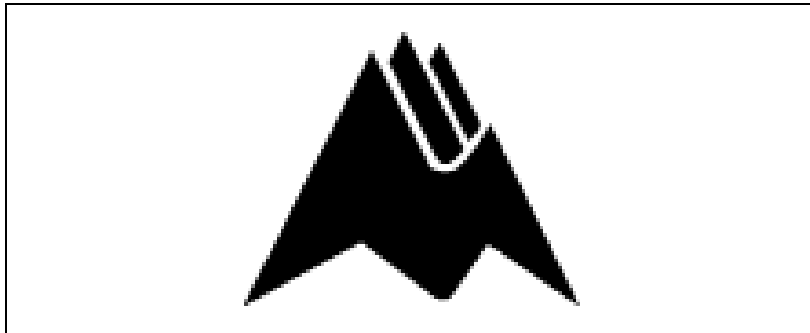
美瑛町教育委員会

美瑛町名の由来

美瑛はアイヌ語の「ピイエ」より転訛したもので、「油こい川、油ぎった川」が語源で、いずれの土地を掘っても濁水がわき出す、という意味である。

本町の開拓者は「ビエイ」となまって呼んだ。「美」は美しさを表し「瑛」は王者のごとく、そして明朗な意味を含むことから採用され、美瑛と命名された。

町花「すずらん」 町木「しらかば」



町章（昭和38年2月制定）

美瑛町の源であり、町のシンボルともいうべき存在の「十勝岳」をかたどり、あわせて町名の第一字「び」を図案化したもので、常に雄々しく伸びる町の発展性とひらがな字体で町民の親和を表したものである。

美瑛町町民憲章

わたくしたちは、美瑛町の町民であることに誇りと責任を感じ、この憲章をかかげてその実践につとめましょう。

- 1 心もからだもすこやかに、りっぱにつとめをはたしましょう。
- 1 互にむつみ話しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを守り助けあい、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し文化をたかめ、豊かな郷土をつくりましょう。

町民憲章（昭和38年2月制定）

町民としての自覚と誇りをもち、あすへむかって力強く歩みを進めるために、町民の総意をこめて、格調高く平明な文で構成した。

目 次

美瑛町の概況	1
教育委員会の概況（教育委員）	2
教育委員会事務局の機構	3
令和5年度当初予算	
美瑛町一般会計の予算	4
教育費予算総括表	5
・学 校 教 育	
学校教育推進の重点	6
1. 学校概況、児童生徒数一覧	10
2. 校舎整備	12
3. 学校警備	13
4. 教具・教材の整備	14
5. 情報教育の充実	14
6. 国際理解教育及び英語教育の充実	15
7. 小・中学校教育奨励事業	15
8. 教職員の研修	17
9. 学校保健	18
10. 学校給食	19
11. スクールバス	20
12. 保育の現況	21
13. 学童保育	21
◇町立小・中学校・道立高等学校	
校長・教頭名簿	22
◇各種役員・委員名簿	23
・図 書 館 運 営	24
・社 会 教 育	
社会教育推進方針	27
◇各種委員	30
◇公民館分館長・主事・郷土学館運営協議会委員	31
◇各種団体役員等名簿	32
◇社会教育・社会体育・学校開放施設一覧	34

美瑛町の概況

位置	北緯43° 24' 55" 東経142° 19' 28"
人口	9,514人 (令和5年3月31日現在)
世帯数	4,805世帯 (令和5年3月31日現在)
面積	676.78 k m ²

本町は、北海道のほぼ中央、上川管内の南部、旭川市と富良野市を結ぶJR富良野線の間際に位置している。周囲は、東・上川町、東南・十勝岳を隔て新得町、西南・上富良野町、西・中富良野町及び芦別市、西北から北・旭川市、北東から東・東神楽町及び東川町と2市6町に隣接していて、総面積は東京23区の広さに匹敵する676.78 k m²を有している。

そのうち70%以上が山林、約15%が畑地であり「丘のまち」の美しい景観を形成している。

地勢は、概ね波状丘陵で畑のほとんどがここにあり、その丘陵の間をぬって美瑛川、置杵牛川、宇莫別川、辺別川ほか数条の河川が流れ、その地域が水田となっている。

地質は、東部山麓の波状丘陵地帯は残積土壌で、石英粗面岩質の土壌が多い。西部の波状丘陵地帯は湖成洪積土壌であるが、その他大部分は河成沖積土壌である。

気象は内陸的で寒暖の差が著しいが、農耕期（令和3年4月1日～9月30日まで）の積算温度は2,634℃、降水量は432mmで、農耕に適した気象条件である。

本町の植民区画設定は明治26年で、当時は神楽村の一部として旭川外三カ村戸長役場のもとにおかれていた。

明治27年9月15日、旭地区に開墾の鍬が入れられて以来、大小の農場によって開発の進展をみた。

明治33年6月1日、神楽村より分村して美瑛村（戸長役場）が、大正4年4月1日に2級村制、同12年4月1日に1級村制、昭和15年4月1日に町制が施行された。昭和20年以降、旧陸軍用地等への緊急開拓入植によって人口、農地とも急激に増大したが、昭和35年を最高に人口の減少が続いている。

本町は開拓以来の基幹産業である農業と白金温泉及び丘の農村景観への観光とが調和を保ちながら発展している。

また、地域振興の新たな手法としてフランスにおける先進事例をもとに、小規模な地域が企業と連携し、その地域が持つ資産を有効に活用し自立を図るべく、「日本で最も美しい村」連合の取り組みを行っている。

教育委員会の概況

教育長・教育委員



鈴木 貴久 教育長
(R4. 10. 1 教育長就任)



二ツ川 越子 職務代理
(H15.10.1 就任)
(H19.10.1 再任)
(H23.10.1 再任)
(H27.10.1 再任)
(H29.10.1 職務代理就任)
(R元.10.1 再任)



小野寺 晴紀 委員
(H24.10.1 就任)
(H26.10.1 再任)
(H30.10.1 再任)
(R4.10.1 再任)



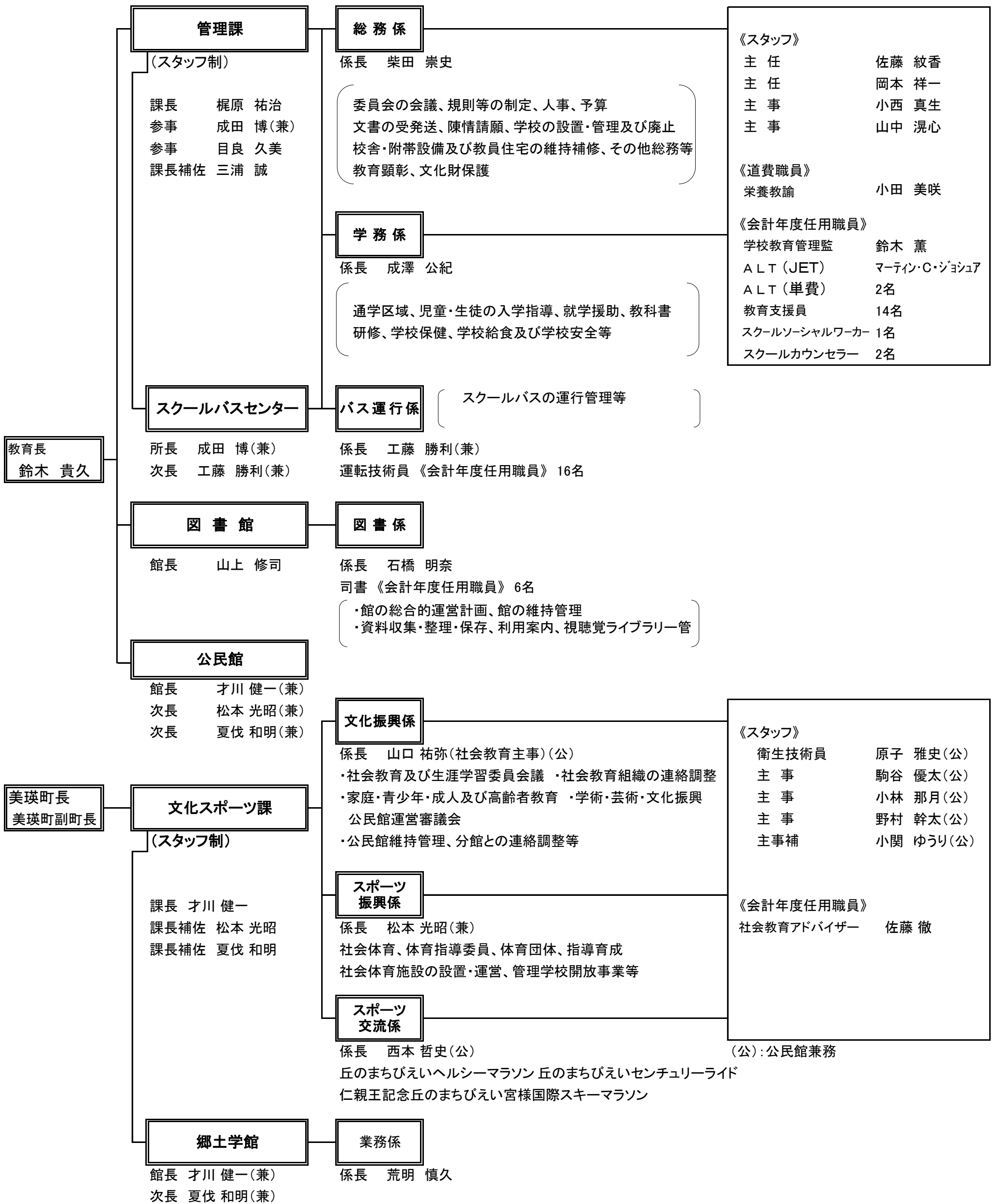
打本 菜保子 委員
(H28.10.1 就任)
(R2.10.1 再任)



小杉 英紀 委員
(H29.10.1 就任)
(R3.10.1 再任)

教育委員会事務局の機構

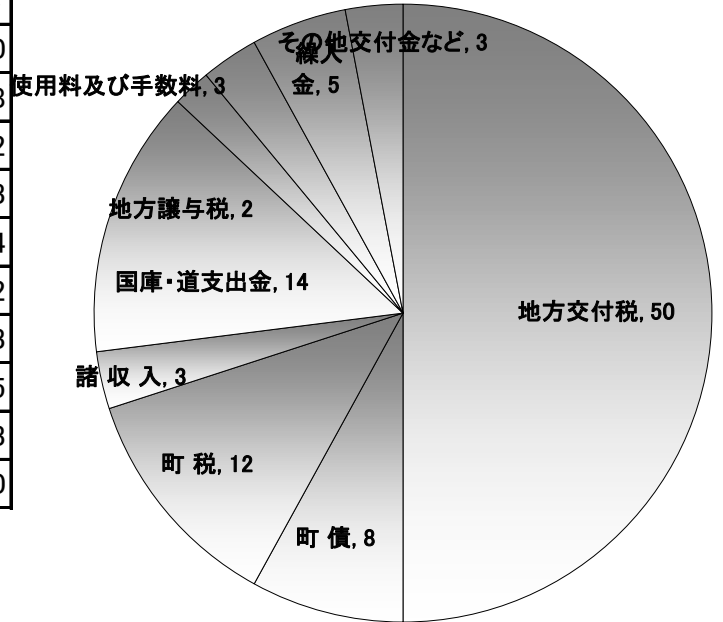
(R5. 5. 10)



配置人数 (兼務除く)	管理課	バスセンター	図書館	公民館 郷土学館	学校教育管理監 アドバイザー	教育支援員
	9人	2人	2人	11人	2人	14人
	栄養教諭	ALT	SSW SC	運転技術員	図書館司書	計
	1人	3人	3人	16人	6人	69人

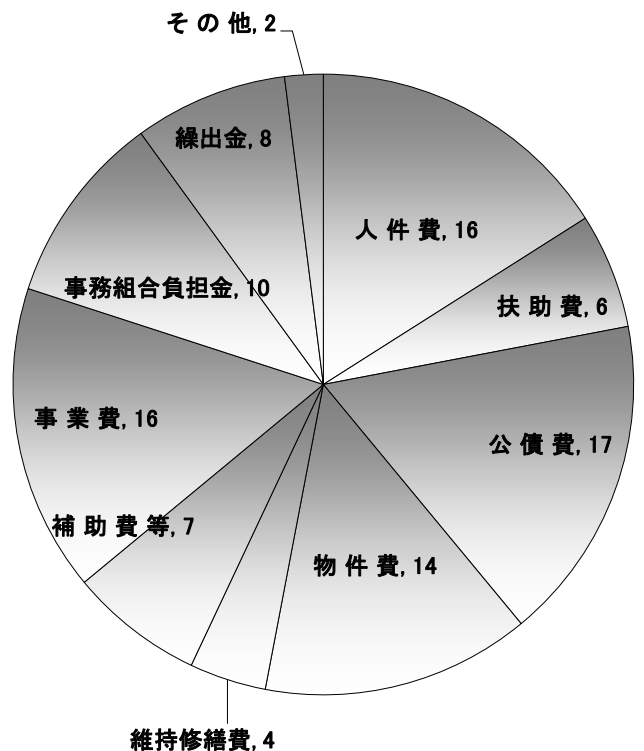
令和5年度 美瑛町一般会計当初予算

科 目	予 算 額	割 合
地方交付税	4,993,000	50
町 債	804,800	8
町 税	1,118,482	12
諸 収 入	257,744	3
国庫・道支出金	1,442,928	14
地方譲与税	227,450	2
使用料及び手数料	252,385	3
繰入金	543,809	5
その他交付金など	339,402	3
合 計	9,980,000	100



一般会計歳出予算 (性質別内訳) (単位:千円)

科 目	予 算 額	割 合
人件費	1,565,671	16
扶助費	611,222	6
公債費	1,704,771	17
物件費	1,348,393	14
維持修繕費	392,106	4
補助費等	740,042	7
事業費	1,637,592	16
事務組合負担金	1,032,580	10
繰出金	794,935	8
その他	152,688	2
合 計	9,980,000	100



令和5年度 教育費予算総括表

(単位:千円)

区 分	令和5年度当初	前年度当初	増 減	増減割合	備 考
教育費総額	496,862	442,654	54,208	12.2 %	
(管理課所管)	459,254	406,686	52,568	12.9 %	
教育総務費	253,933	241,877	12,056	5.0 %	
教育委員会費	2,049	2,049	0	0.0 %	
事務局費	85,311	81,656	3,655	4.5 %	
学校給食費	96,356	91,049	5,307	5.8 %	
教員住宅管理費	3,813	3,793	20	0.5 %	
通学自動車運行費	58,586	56,289	2,297	4.1 %	
学童保育費	7,818	7,041	777	11.0 %	
小学校費	131,633	106,544	25,089	23.5 %	
学校管理費	113,157	87,972	25,185	28.6 %	
教育振興費	18,476	18,572	▲ 96	▲ 0.5 %	
中学校費	73,688	58,265	15,423	26.5 %	
学校管理費	55,633	41,222	14,411	35.0 %	
教育振興費	18,055	17,043	1,012	5.9 %	
(公民館所管)	11,526	12,130	▲ 604	▲ 5.0 %	
社会教育費	11,526	12,130	▲ 604	▲ 5.0 %	
社会教育総務費	509	595	▲ 86	▲ 14.5 %	
公民館費	11,017	11,535	▲ 518	▲ 4.5 %	
(図書館所管)	26,082	23,838	2,244	9.4 %	
社会教育費	26,082	23,838	2,244	9.4 %	
図書館費	26,082	23,838	2,244	9.4 %	

令和5年度学校教育推進の重点

グローバル化やチャットGPTを始めとするICT技術やAIが急速に進化する一方で、地球温暖化や少子高齢化の問題など、社会情勢や人々の日常生活・価値観などは大きく変化しています。

これからは、一人一人の児童生徒が自分の良さや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながら様々な困難を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な未来の担い手となることが求められています。そして、そのためには、学校が質の高い教育を提供し、児童生徒がその学びを習得して活用できるようになることが重要です。

町の魅力や活力を創出し、郷土への愛着や誇りを持ちながら地域を支える持続可能な人材を育成するとともに、町長部局と連携を図り、町民一人一人がいきいきと学び続ける環境づくりを通して、心豊かに輝くまちづくり、人づくりに資する教育行政の充実と発展に取り組んでまいります。

【学校教育】

1. 社会でいきる力の育成

これからの社会では、知識・技能の習得のほか、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力などが求められています。

学力向上に向け、全ての小中学校で統一した学習規律を定めるとともに、主体的・対話的で深い学びによって、子どもたちに新しい時代に求められる資質・能力を育成します。全国学力・学習状況調査の分析結果を基に、全ての学校が自校の授業改善に努め、長期休業中に実施する小学生学習ルームや各中学校で行っている放課後学習などの取り組みによって、一人一人の基礎的学力の定着につなげてまいります。

子どもたちの学びへの興味・関心を高め、分かりやすい授業を展開するため、ICT機器を有効に活用するとともに、個別最適化な学びと協働的な学びを実施するため、児童生徒1人1台の情報端末を積極的に活用します。

子どもたちの自主的な読書活動を支援するために学校図書館へ図書司書を巡回させ、多様な子どもたちの視点に立った読書活動を支援し、豊かな感性や想像力を育ててまいります。

小学校では外国語が教科化されるなど、これからのグローバル社会を生きる子どもたちにとっては、英語が重要な学びとなっています。専門的に英語の授業を担う外国語専科教諭のほか、外国語指導助手を配置し、子どもたちが生きた英語に親しむ機会や外国の文化を学ぶ授業を通して、英語を用いて基本的なコミュニケーションができる児童生徒を育成するとともに、国際理解教育の推進に努めてまいります。

支援教育では、各学校のコーディネーターと連携し、全ての子どもの実態に即し、子どもの将来的な自立につながる合理的配慮がなされるよう、子ども自身や保護者の意向を最大限尊重し、適切な指導や支援体制の充実を図ります。

2. 豊かな人間性と健やかな体の育成

児童生徒の成長過程に応じた適切な指導の下、他人を思いやる心と健康な体を育むことは、自己実現を図る上で大変重要です。また、子どもたちが、郷土の良さを知り、今後のまちの在り方などについて探究的に学習することは、社会に参画しようとする姿勢を育てる上で重要であります。

このため、小学校3年生から6年生までの各成長段階に応じ、美瑛の自然や歴史・文化・先人について体験的に学び、郷土に愛着を持ち地域を愛する心や地域の人に対する思いやりの心を育成する「ふるさと学習」を実施するとともに、職場体験や地場産業への関わりなど児童生徒一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる「キャリア教育」を進めてまいります。

道徳教育では、あらゆる他者を価値のある存在として尊重しながら自己の生き方について考え、多様な人々と協働しながら生きていくための豊かな人間性、社会性を育む取り組みを進めてまいります。

いじめ問題については、「美瑛町いじめ防止基本方針」に基づき、学校や家庭、関係機関等と連携し、未然防止と早期発見、迅速で丁寧な対応に努めてまいります。

不登校傾向にある児童生徒への対応については、学校における丁寧な教育相談や家庭訪問を繰り返し行うとともに、新たに開設した「マイスペース」が児童生徒にとってより利用しやすい場所となるよう、子どもたちや保護者への周知に努めてまいります。

また、家庭環境などに課題が見られるケースにあっては、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーを有効に活用するなど、悩みを抱える児童生徒や保護者との相談体制の充実を図ってまいります。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果などの分析と活用を進めるとともに、ICTを効果的に活用した体育の授業を展開することを通して、個々の児童生徒が体力向上に向けた目標を持ち、日常的に運動に親しむ運動習慣の定着を目指します。

学校給食においては、恵まれた地元食材の活用・拡大に努めるとともに、地域の食文化や生産者への感謝と理解を深める食育を推進してまいります。

3. 学びを支える家庭・地域との連携・協働

子どもたちが様々な人々と関わり、多様な経験を重ねながら、たくましく成長していくためには、学校教育だけではなく、家庭や地域と連携・協働することが重要です。

このため、学校経営に対する理解が深まるよう、学校だよりによる教育活動の情報発

信など、開かれた学校づくりの取り組みを推進するとともに、より一層地域とともにある学校づくりを目指すため、全学校に設置しているコミュニティ・スクールの充実を図ってまいります。

また、子どもたちが休日を有意義に過ごすとともに、学校での学習を補充することができるよう「土曜学習」事業を引き続き実施してまいります。

幼児機関と小学校がそれぞれの指導方法を共有し、小学校入学前後の引継ぎが円滑に行なわれるよう細かなカリキュラムを定め、安心して学校生活を送られるよう、幼小教職員の一層の連携に努めます。小中学校の9年間を通じて一貫した指導体制を目指し、中一ギャップの未然防止に向けた中学校教員による小学校への「出前授業」や小中学校相互の授業公開を行なうなど、より一層の小中の連携を図ってまいります。

北海道教育委員会や上川教育研修センターなどが実施する各種研修事業への参加を促進するほか、保護者や地域から信頼されるような魅力ある学校づくりに資する教職員育成のため、教職員等研修会を引き続き実施してまいります。

また、子どもたちと向き合う時間を確保し、よりきめ細かな指導につながるよう学校全体で働き方改革を進め、教員が健康でいきいきとやりがいをもって職務に精励できるよう努めてまいります。

中学校における部活動の地域移行については、検討委員会を設置し、持続可能な地域スポーツの活動ができるよう関係団体等と協議してまいります。

4. 教育環境の充実

児童生徒の安全確保については、登下校時における街頭指導を始め、避難訓練や通学路の安全点検など関係機関と連携した安全確保の体制を充実してまいります。

保護者の経済的な負担を軽減するため、学校給食費の無償化やスキー授業におけるリフト代の助成、修学旅行費の一部助成などを継続してまいります。

学校施設については、児童生徒が安全で安心な環境で快適に学ぶことができるよう、必要な施設整備と維持補修を進めてまいります。

児童生徒の登下校を支えるため、スクールバスを運行するとともに、既存車両の維持補修に努め、安全運転の徹底を図ってまいります。また、遠方より通学し、さらに部活動をしている生徒の下校の支援について、保護者等の実情を鑑みて検討してまいります。

【社会教育】

5. 学びをいかす地域社会

令和7年度を計画期間としている「第10次社会教育中期計画」に基づき、町民一人一人の生涯学習の実践のために、途切れることのない学習機会の提供と活動の場の確保を行い、活力にあふれた豊かなまちづくりを目指した社会教育の推進に努めてまいります。

す。

社会教育施設については、町民の学習活動の拠点や地域の交流の場として、これからも有効に活用されるよう情報発信の充実を図り、利用促進に取り組んでまいります。

公民館では、常に変化し続ける社会情勢を的確に把握しながら多様な学習ニーズに柔軟に対応し、親子を対象とした「親子クッキング」や成人対象の「いきがい作り講座」、高齢者対象の「スマートフォン教室」や生きがいのある充実した生活に繋がるよう多くの学習機会を提供する「すずらん大学」の継続した運営など、生涯にわたり継続的な学びにつながるよう様々な公民館事業を実施してまいります。

図書館は、あらゆる世代の町民の生涯学習活動の核となる大きな役割を担っていることから、気軽に立ち寄ることのできる施設を目指して事業を実施してまいります。

また、幼児期の読み聞かせや児童期の読書は、子どもの成長にとって極めて重要なことから、読み聞かせボランティアグループによるお話し会やブックスタート事業を引き続き実施してまいります。

1. 学校等一覧

(1) 各学校の概況

体校

学校名	創 立	学 校 施 設 の 概 況					暖 房		警 備			
		建築年度	校舎面積 m ²	屋体面積 m ²	事業費千円	普通教室数	特別教室数	学校敷地 m ²	中央	個別	機 械	委 託
美 瑛 小 学 校	M32.10.20 尋常小学校開設	S52～S53			760,240							
		H 5.6 改造			317,859							
		H27 大規模改修	4,809	1,084	256,695	19	12	32,294	電気			○
		H28 大規模改修			41,172							
		H28繰越 大規模改修			344,304							
		H29 大規模改修			239,404							
美馬牛小学校	M43. 4. 1 T 6. 4. 1 特別教授所 尋常小学校と改称	S59	1,254	660	340,350	7	4	34,131		F		○
		H26 改造			64,649							
美 沢 小 学 校	M33. 4.21 M42. 4. 1 簡易教育所開設 尋常小学校と改称	S57	1,209	679	392,300	6	3	48,974	温水			○
		H27～H28 改造			146,858							
明 徳 小 学 校	M34. 9. 5 M45. 4. 1 私設教育所 尋常小学校と改称	S54	659	270	388,550	4	7	15,528	温水		○	
		H 8 改造			211,115							
美 瑛 東 小 学 校	S46.11. 1 統合(東瑛・千代田)	H27 屋体補強			41,429							
		S45～S47	3,628	791	215,440	13	8	31,478	温水			○
宇 莫 別 小 学 校	M37. M40. 4. 6 T 6. 4. 1 H16. 3.31 私立教育所 教育所 尋常小学校と改称 体校	S62～H元 改造			281,327							
		H25 大規模改修			324,954							
	計		12,219	3,889		52	37	182,310				
美 瑛 中 学 校	S22. 5. 1 S51. 4. 1 H 3. 4. 1 開校 美瑛・美沢・置杵牛・宇莫別・美田中統合 旭中統合	S49～S51	5,558	1,195	755,777	17	10	49,305	電気			○
		H 3.4 改造			229,551							
		H26 大規模改修			612,424							
美馬牛中学校	S22. 5.10 S27. 4. 1 美瑛第一中西美分校として 美馬牛中学校と改称	S56～S58	1,314	771	399,840	7	5	42,783	温水			○
		H 5 増築			39,380							
	計		6,872	1,966		24	15	92,088				

(2) 学校別 児童・生徒数、学級数、教職員数

(特別支援:内数)

(町費職員:内数)

へき 地級	学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		学級 数	教職員数						
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女		計	校長 教頭	教員	養護 栄養	事務職 事務生	公務補 計	
	美瑛小学校	(5)	(6)	(11)	(5)	(7)	(12)	(3)	(8)	(11)	(4)	(3)	(7)	(2)	(3)	(5)	(9)	(4)		(1)	(2)	(7)	
	美馬牛小学校	(2)	(1)	(2)	(1)	(1)	(2)	(3)		(2)	(2)	(4)	(2)	(1)	(13)	(3)				(1)	(1)	(1)	
準	美沢小学校			(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(2)	(2)	(2)	(2)	(2)	(4)	(4)	(3)				(1)	(1)	(1)	
1	明德小学校	1	4	5	1	2	3	2	3	5				1	3	(1)	(3)	(3)	2	6	1	1	11
	美瑛東小学校	(1)	(3)	(4)	(2)	(2)	(4)	(5)	(1)	(6)	(1)	(2)	(3)	(1)	(14)	(6)	(3)	(3)	2	6	1	1	11
	小学校計	(8)	(10)	(18)	(9)	(11)	(20)	(15)	(20)	(20)	(9)	(14)	(15)	(8)	(97)	(24)	(7)	(7)	10	69	6	7	98
	美瑛中学校	(7)	(10)	(17)	(11)	(2)	(13)	(10)	(12)					(28)	(14)	(8)	(6)	(6)	2	30	1	3	38
	美馬牛中学校	(1)	(1)	(2)	(2)	(4)	(2)	(4)	(4)					(3)	(5)	(3)	(1)	(1)	2	9	1	1	14
	中学校計	(8)	(11)	(19)	(13)	(2)	(15)	(10)	(16)					(31)	(19)	(11)	(7)	(7)	4	39	2	4	52
	合計	41	44	85	38	44	82	37	68					(88)	(147)	(35)	(14)	(14)	14	108	8	11	150

※教員数には「教育支援員」を含む

〔令和5年5月1日現在〕

2. 校舎整備

小・中学校校舎等整備事業実績

(単位:千円)

年 度	R2	R3	R4
設備改修事業	94,312	25,705	16,632
中規模改修事業	0	38,544	0
その他事業	5,489	7,238	1,573
計	99,801	71,487	18,205

(1) 令和元年度実績

- ・ プール撤去工事 (美瑛小) 14,030千円
- ・ トイレ洋式化改修工事(明德小) 14,181千円
- ・ 学校遊具改修工事 (美馬牛小・美沢小・明德小・美瑛東小) 4,266千円
- ・ 大規模改修実施設計業務(美馬牛中) 6,050千円

(2) 令和2年度実績

- ・ わんぱく広場整備工事 (美瑛東小) 1,936千円
- ・ エアコン設置工事 (美瑛中) 3,454千円
- ・ 小学校遊具改修工事(美瑛小・美馬牛小) 3,553千円
- ・ 学校給水ポンプ更新工事 (明德小) 2,772千円
- ・ 給食室エアコン設置工事 (美馬牛小・明德小) 3,223千円
- ・ 小中学校給湯器設置工事 [感染症対策]
(美馬牛小・美沢小・明德小・美瑛東小・美馬牛中) 5,344千円
- ・ 耐震改修工事 (明德小) [繰越明許] 56,067千円
- ・ G I G Aスクールネットワーク整備工事 (全小中学校) [繰越明許] 23,452千円

(3) 令和3年度実績

- ・ 給食室エアコン設置工事 (美沢小・美馬牛中) 3,300千円
- ・ 美馬牛小学校キュービクル改修工事 3,883千円
- ・ 宇莫別小学校体育館屋根改修工事 8,223千円
- ・ 美瑛小学校周辺環境整備工事 2,838千円
- ・ 美瑛中学校環境整備工事 2,222千円
- ・ 美瑛中学校通学路樹木柵整備工事 2,178千円
- ・ 美瑛中学校エアコン設置工事 [繰越明許] 9,218千円
- ・ 小中学校感染症対策網戸設置工事 [繰越明許] 1,081千円
- ・ 美馬牛中学校改修工事 (中規模改修) 38,544千円

(4) 令和4年度実績

- ・ 美瑛小学校エアコン設置工事 [繰越明許] 12,562千円
- ・ 美沢小学校高圧ケーブル更新工事 1,573千円
- ・ 短焦点壁掛け対応型プロジェクター設置工事 1,606千円
- ・ 小中学校感染症対策空調設備等設置工事 2,464千円

(5) 令和5年度計画

- ・美瑛東小学校エアコン設置工事 [繰越明許]
- ・美沢小学校2階給湯管更新工事
- ・明德小学校階段室サッシ取替工事
- ・美瑛小学校消防用設備修繕工事

3. 学 校 警 備

教職員が教育に専念し、よりよい教育を行うことができるよう、民間委託による学校警備を実施する。(学校の管理及び教育財産の保全に努めている。)

(1) 学校警備の現況

区分 小中別	委託警備(民間)	機 械 警 備	計
小 学 校	4 校	1 校	5 校
中 学 校	2 校	0 校	2 校
計	6 校	1 校	7 校

(2) 委託警備(民間)

侵入センサーと火災報知機が異常事態を感知すると、自動的にガードセンターに通報され、事故を最小限度に防止するとともに、事故処理の適正を図るものである。

(3) 機械警備

侵入センサーと火災報知機が異常事態を感知すると、校長宅→教頭宅に通報される。

(4) 予算額 2,340千円

4. 教具・教材の整備

学校教育において児童、生徒の教育指導を効果的に行うために教材、教具を整備し学校教育の効果を高めていかなければならない。また、時代に即した教育環境の整備を図るとともに、子育て世代の保護者を支援するべく、教育活動に要する費用負担の軽減にも取り組んでいる。

(1) 小学校費

年 度	教材教具費	5月1日現在児童数	1人当単価	備 考
R3	7,985,851円	430人	18,572円	
R4	6,275,715円	423人	14,836円	
R5	6,674,000円	388人	17,201円	当初予算

(2) 中学校費

年 度	教材教具費	5月1日現在生徒数	1人当単価	備 考
R3	10,433,468円	202人	51,651円	
R4	4,506,738円	218人	20,673円	
R5	4,734,000円	235人	20,145円	当初予算

5. 情報教育の充実

情報社会の進展と新しい学習指導要領の施行に対応する情報活用能力を培う情報教育を推進させる。

(1) 教育用コンピュータ設置台数

学校	2in1型 windowsPC	iPad	Chromebook	指導者用 ノートPC
美 瑛 小 学 校	40台	24台	221台	10台
美馬牛小学校		9台	29台	3台
美 沢 小 学 校		6台	11台	3台
明 徳 小 学 校		12台	18台	3台
美瑛東小学校		17台	109台	6台
美 瑛 中 学 校	41台	21台	218台	6台
美馬牛中学校		17台	17台	3台
計	81台	106台	623台	34台

(2) 計 画

本町においては、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個々の状態に合った学びを保障し、創造性豊かで未来の情報社会で生きる力が養われるよう、美瑛町学校教育情報化推進計画を始めとした各種計画に基づき、教育現場の情報化を推進します。

- 美瑛町学校教育情報化推進計画
- 美瑛町立小中学校情報セキュリティ・ポリシー
- 学習用情報端末Chromebook運用規程

6. 国際理解教育及び英語教育の充実

国際理解教育の推進を図るため、(1)国際理解に関する教育課程の編成、(2)英語指導助手(AL T)の活用、(3)国際化の教育に関する教職員の研修の充実を図っている。

年度	英語指導助手氏名	性別	国籍	事業実績			
R 2	デヴィン ウッズ マイケル	男	アメリカ	中学校	80回	小学校	56回
	ダイヤーヘイデン 鈴木 ジェシカ	男 女	アメリカ オーストラリア			小学校	241回
R 3	マーティン・コラレス・ジョシュア	男	アメリカ	中学校	100回	小学校	374回
	鈴木 ジェシカ	女	オーストラリア				
	リアンキー・タヌッドジャヤ	男	インドネシア				
R 4	マーティン・コラレス・ジョシュア	男	アメリカ	中学校	120回	小学校	383回
	鈴木 ジェシカ	女	オーストラリア				
	リアンキー・タヌッドジャヤ	男	インドネシア				
R 5	マーティン・コラレス・ジョシュア 鈴木 ジェシカ リアンキー・タヌッドジャヤ	男 女 男	アメリカ オーストラリア インドネシア	中学校	140回	小学校	375回

7. 小・中学校教育奨励事業

就学援助制度

(1) 目的

経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、定められた項目について支給する。

(2) 認定基準

ア) 要保護児童生徒就学援助

生活保護法に規定する要保護者(保護を必要とされる状態にある者)

イ) 準要保護児童生徒就学援助

次のいずれかに該当し、かつ、生活保護法の規定による方法により算定した前年分の収入額が同法の規定による厚生労働大臣が定める基準に基づいて算定した当該年分の最低生活費の1.2倍未満の者と生計を一にする者。

① 生活保護法に基づく保護が、停止又は廃止された者

(現在、生活保護を受けている者は該当しない。)

② 町税(町民税、固定資産税)又は国民健康保険料が非課税又は減免された者

③ 個人事業税が減免された者

④ 国民年金の掛け金が免除された者

⑤ 児童扶養手当の支給を受けている者

⑥ 生活福祉資金の貸付を受けている者

⑦ 前各号に掲げるものと同程度の経済状態にあると認められる者

(3) 援助項目

項目	対象者
学用品費、通学用品費	準要保護に認定された者
体育実技用具費	準要保護児童生徒のうち、体育や保健体育の授業で正課として、スキーを実施しており、当該用具一式を購入する者(小学校1～3年生、4～6年生、中学校1～3年生の間にそれぞれ1回支給 ※ただし、授業を実施している学年のみ)
校外活動費	準要保護児童生徒のうち、校外活動に参加する者
新入学児童生徒学用品費	準要保護児童生徒のうち、新入学の者
修学旅行費	要保護・準要保護児童生徒のうち、修学旅行に参加する者
クラブ活動費	要保護・準要保護の生徒のうち、クラブ活動(部活動)に所属する者
生徒会費	準要保護児童生徒で通学する学校が生徒会費を定め、保護者の負担がある者
PTA会費	準要保護児童生徒で通学する学校がPTA会費を定め、保護者の負担がある者
卒業アルバム代等	要保護・準要保護の児童生徒(小学校6年生、中学校3年生)のうち卒業アルバムを購入する者
オンライン学習通信費	要保護・準要保護の児童生徒のうち、自宅等においてオンライン学習を受けた者

特別支援教育就学奨励事業

(1) 目的

特別支援学級に在籍する児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、負担能力の程度に応じ、就学のため必要な経費のうち定められた項目のうち、その全部又は一部を支弁する。

(2) 認定基準

特別支援学級に在籍する児童生徒で、特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令及び算定要領に基づいた支弁区分の決定により、支給基準に該当となる者。

(3) 援助項目

項目	対象者
学用品費、通学用品費	認定された者
体育実技用具費	体育や保健体育の授業で正課として、スキーを実施しており、当該用具一式を購入する者(小学校1～3年生、4～6年生、中学校1～3年生の間にそれぞれ1回支給 ※ただし、授業を実施している学年のみ)
校外活動費	校外活動に参加する者
新入学児童生徒学用品費	新入学の者
修学旅行費	修学旅行に参加する者
通学に要する交通費(通学費)	通級指導教室(ことばの教室・そだちの教室・すだちの教室)に通級する児童生徒で、市街地の小中学校以外の学校から通級する者
オンライン学習通信費	自宅等においてオンライン学習を受けた者

8. 教職員の研修

教職員一人一人の資質を向上させるための研修活動の充実を図るとともに、児童生徒の成長を導く校内研修や専門性向上の計画的な個人研修授業を中核とした系統的持続的な実践研究、実践研究の累積と研究交流の推進、道内外研修の実施等を行い研修体制の一層の充実を図る。

美瑛町教育研究会

(1) 研究推進の基本方針

「生きる力」の基盤となる、確かな学力、豊かな人間性、健康でたくましい体力を持つ調和のとれた児童生徒を育成するために、創意と活力に満ちた教育活動の推進に努める。

(2) 研究推進の主題

「ふるさと美瑛に誇りをもち、心豊かに支え合う児童生徒を育成するための実践的研究」
～自らの夢や目標に向かって、互いに高め合い挑戦する児童生徒の育成～

(3) 研究推進の重点

① 研究活動

- ・班活動の累積・発展を図るため、班長の任期を含めてできるだけ、2年サイクルでの研究を推進する。
- ・班研究の成果及び課題を次年度に生かせるよう、班ごとにファイルを作成する。
- ・会員相互及び他の教育団体との研究活動の交流に努める。
- ・研究の総まとめとして「研究紀要」を発刊し、活動の成果や課題を累積し、次年度の研究へとつなげる。

② 児童生徒に関わる行事

- ・児童生徒に関わる行事を計画に従って遂行する。
- ・実施に当たっては、前年度の反省を生かし、会員の意見を十分に反映させながら行う。
- ・スムーズな運営を行うため、必要に応じて運営委員会を設ける。
- ・教育委員会との連携を十分に図りながら、各種行事を推進する。

9. 学 校 保 健

学校保健衛生の向上と健康安全教育の推進のため、児童生徒及び教職員の健康管理を重視し、定期健康診断及び疾病予防のための各種検査を実施している。一方、学校の実態に即した保健指導を行い、児童・生徒の健康保持、増進に努めると共に安全対策に力を注ぎ、学校内での災害防止や通学途中での交通事故の防止に万全を期している。

(1) 保健管理

ア) 実施業務

検診の種類	対 象 者	備 考
内 科	全 員	年1回学校医が行う
歯 科	全 員	年1回学校歯科医が行う
尿	全 員	年1回美瑛町立病院に検査を委託
心 電 図	小学1年及び中学1年	年1回旭川医師会健康管理診療所に委託
結 核	全 員	年1回問診票により内科検診の際に行う

イ) 学校医等

委 嘱 医 療 機 関 名	業 務 名	備 考
美瑛町立病院	村住 和彦	学 校 医
	横尾 英樹	学 校 医
	林 秀 美	学 校 医
美瑛循環器・内科クリニック	藤原 正文	学 校 医
丘のまち歯科クリニック	三浦 一仁	学校歯科医
しらとり歯科クリニック	白取 秀樹	学校歯科医
Youすまいる歯科	小林 利夫	学校歯科医
	小林 祐二	
山崎歯科クリニック	山崎 清仁	学校歯科医
美瑛町立病院	島津 洋之	学校薬剤師

10. 学 校 給 食

学校給食は、全学校が単独給食実施校で完全給食となっており、物資の購入については各学校で行い、献立は教育委員会の学校栄養教諭が作成し各学校に配布している。

(1) 米飯給食の実施状況

週3回以上の米飯給食をすべての学校で行っている。

(2) 給食人員

小 学 校			中 学 校			合 計		
学校数	児童数	給食人員	学校数	生徒数	給食人員	学校数 (校)	児童生徒数 (人)	給食人員 (人)
5	388	500	2	235	292	7	623	792

令和5年5月8日現在

(3) 給食費(参考)

学校名	年額(円)	1食当たり (円銭)	内 訳		給食実 施回数	米飯給食 実施回数
			主食+副食	牛 乳		
美瑛小	45,540	220	169.42	50.58	207	週3回
美瑛中	51,750	250	199.42	50.58	207	週3回

令和4年度実績

11. スクールバス

昭和 24 年より国鉄バスが運行されていたが、国鉄合理化のため運行が廃止された。

現在の交通機関は、市街地を中心に放射状となって、郊外へ向け 10 路線のスクールバスを運行しているが、児童生徒の通学の足の確保はもとより校外学習の活用並びに一般住民混乗方式で利用されている。

(1) 路線別運行

運行年月日	運 行 路 線	運 行 回 数	
S60. 4. 1	置杵牛線・宇莫別線・水沢線・美田五稜線	3 往復	日祭日 運 休
S61. 4. 1	美馬牛線・俵真布線・二股線	3 往復	
H3. 4. 1	旭線	3 往復	
H23. 4. 6	夕張 福富憩線・ルベ 新栄線	3 往復	

(2) バス車種

種 別	台数	会 社 名	運 行 路 線	年式	乗車定員
小型バス	1	日野自動車	美馬牛	24	29 人
小型バス	1	三菱ふそうトラックバス	俵真布	31	29 人
小型バス	1	日野自動車	ルベ新栄	14	29 人
小型バス	1	三菱ふそうトラックバス	二股	4	29 人
中型バス	1	いすゞ自動車	宇莫別	25	45 人
小型バス	1	三菱ふそうトラックバス	置杵牛	30	29 人
小型バス	1	日野自動車	水沢	27	29 人
小型バス	1	トヨタ自動車	美田・五稜	29	29 人
中型バス	1	いすゞ自動車	旭	23	46 人
小型バス	1	日野自動車	夕張福富憩	23	26 人
中型バス	1	いすゞ自動車	予備車	19	41 人
中型バス	1	いすゞ自動車	予備車	17	41 人

(3) 乗車人数

路 線 名	H30	R元	R2	R3	R4
美田・五稜線	4,362	4,059	4,817	5,099	4,024
宇 莫 別 線	5,215	4,714	6,165	6,447	7,138
水 沢 線	3,224	2,683	2,643	2,323	2,686
二 股 線	6,531	5,795	6,268	6,215	5,159
美 馬 牛 線	3,652	2,948	2,408	2,354	1,747
置 杵 牛 線	3,177	2,245	2,888	3,694	4,615
俵 真 布 線	7,554	7,453	8,188	7,848	8,976
旭 線	5,403	5,025	4,612	4,913	4,848
夕張福富憩線	3,125	2,827	2,163	3,426	3,080
ルベ新栄線	3,349	2,969	3,144	2,276	1,505
合 計	45,592	40,718	43,296	44,595	43,778

12. 保育の現況

年 度	学齡前児童数	認可保育所	へき地保育所	幼稚園
R元	333 人	144 人	29 人	68 人
R2	292 人	112 人	23 人	72 人
R3	276 人	104 人	21 人	76 人
R4	275 人	109 人	21 人	80 人
R5	267 人	103 人	18 人	87 人

(令和5年5月1日現在)

13. 学童保育

美瑛町学童保育事業

- (1) 開設期日 平成4年8月18日
 (2) 開設場所 美瑛町丸山2丁目8番15号 美瑛町立美瑛東小学校内
 (3) 概 要

ア) 目的

遊びを通じて自主性・創造性を養うとともに家庭や社会生活に必要な規律・礼儀・健康・安全確保などが養われるよう指導を行うことを目的とする。

イ) 対象者

美瑛東小学校の学童で、放課後帰宅しても保護者等が就労などにより家庭を留守にするため、保護指導が受けられないことを常態としている学童。

ウ) 学年別在籍者数(令和5年5月現在)

学 年		1	2	3	4	5	6	合 計
人 数	男	7 人	9 人	1 人	5 人	1 人	3 人	26 人
	女	8 人	11 人	10 人	6 人	5 人	3 人	43 人
	計	15 人	20 人	11 人	11 人	6 人	6 人	69 人

エ) 開設日

月～金曜日: 下校時～午後6時00分

土曜日・春休み・夏休み・冬休み期間: 午前8時00分～午後6時00分

※平成28年度より開設時間を前後30分延長

令和4年度開設日計 269 日(月平均 22 日)

” 延利用者数 6,447 人(1日平均 24 人)

オ) 職 員

主事1名(校長)、主事補1名(教頭)、指導員4名(女性)、代替指導員3名 計9名

美瑛町立小・中学校・道立高等学校 校長・教頭名簿

【小学校】

(R5.4.1)

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	ほりうち りゆうこう 堀内 隆功	いとう むつろう 伊藤 睦郎	92-2145	92-2146	西町2丁目1番1号
美馬牛	やまだ ゆうこ 山田 裕子	いとう ひろき 伊藤 洋貴	95-2113	68-6677	美馬牛南2丁目2番58号
美 沢	おんせん さとし 温泉 敏	あらい かおり 荒井 香織	92-4960	92-9080	字美沢中央
明 徳	そうま みちえ 相馬 美智枝	くらた あつお 倉田 淳生	96-2117	96-2848	字朗根内町内
美瑛東	よねつ まさおみ 米津 理臣	いたに やすなり 井谷 泰成	92-1205	92-1206	丸山2丁目8番15号

【中学校】

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	かなやま たつや 金山 達也	むらかみ まさよし 村上 政義	92-2175	92-2176	字美瑛原野4線
美馬牛	おおがら ひろき 大柄 洋樹	すどう かずひろ 須藤 和宏	95-2129	68-6006	美馬牛北3丁目7番1号

【高等学校】

学校名	校長名	教頭名	電話番号	FAX番号	学校所在地
美 瑛	たに たかひと 谷 尊仁	あまの じゅんや 天野 潤也	92-1054	92-1732	旭町1丁目9番2号

美瑛町PTA連合会役員

役 職	氏 名	区分	学 校 名	備 考
会 長	嵯 城 裕 之	P	美瑛東小学校	単P会長
副 会 長	福 田 寿 行	P	明 德 小 学 校	単P会長
	本 山 忠 寛	P	美 沢 小 学 校	単P会長
監 事	川喜田 努	P	美馬牛小学校	単P会長
	伊 藤 睦 郎	T	美 瑛 小 学 校	前事務局
理 事	寺 島 勝 明	P	美馬牛中学校	単P会長
	二井田 航	P	美 瑛 小 学 校	単P会長
	江 花 光 春	P	美 瑛 中 学 校	単P会長
	太 田 典 夫	P	美瑛高等学校	単P会長
事 務 局	美瑛東小学校	事 務 局 長	井 谷 泰 成	
		事 務 局 次 長	三 上 大 輔	
		会 計	穴 戸 由 紀 子	

美瑛町文化財審議会委員

(任期 R5. 4. 1~R7. 3. 31)

氏 名	備 考
内 藤 美 佐 雄	
藤 原 悟	

美瑛町教育表彰審議会委員

(任期 R4. 4. 1~R6. 3. 31)

所 属	氏 名	備 考
校 長 会 代 表	堀 内 隆 功	美瑛小学校
文 化 団 体 代 表	高 橋 良 彦	文化連盟
体 育 団 体 代 表	安 田 伸 幸	スポーツ協会
少 年 団 体 代 表	石 原 啓 吾	少年団育成連絡協議会
婦 人 団 体 代 表	西 森 郁 子	婦人団体連絡協議会
学 識 経 験 者	石 田 貴 宏	国立大雪青少年交流の家次長
学 識 経 験 者	嵯 城 裕 之	PTA連合会

図書館運営

図書館は、あらゆる世代の町民の生涯学習活動を支援するための大きな役割を担っており、利用者ニーズにあった資料と情報の収集、整理、保管を進め、北海道立図書館等関係機関と連携しながら、読書環境の充実に取り組んでまいります。

また、図書館利用者の皆さまが必要とする情報を効率よく入手できるように、自己学習支援の一つである「レファレンス」の普及・活用促進と職員の資質向上を図りながら、様々な分野の問題解決への糸口をサポートしていきたいと考えております。

図書館の利用促進事業として、図書館フェスティバルや季節ごとの各種イベントの開催、町民の作品等の展示や図書の企画展示を行うほか、長期休業中には子どもたちの学習の場として会議室を解放するなどの取り組みを継続します。

また、読書への関心をさらに深めていただくため、中学生以下を対象に読書通帳一冊終了ごとに本を贈呈する読書活動応援事業を行うとともに、滞在型利用を志向する利用者への居心地のよい空間の提供や、毎週水曜日の閉館時間を1時間延長し様々な方に利用しやすい環境とするなど、利用者へのサービス向上と町民誰もが訪れたいくなる魅力ある図書館づくりに努めます。

子どもの読書環境の充実につきましては、「子どもの読書活動推進計画」を基本として、読み聞かせボランティアグループの協力によるおはなし会や、生後6カ月のお子様と保護者を対象に本を通じた親子の触れ合いを促進するブックスタート事業を引き続き行います。子どもたちにとって身近な場所である学校や児童館への団体貸出を継続して行い、学校と図書館の連携により学校図書室の機能の充実を図ると共に、図書館司書の資格を持つ職員が定期的に学校を訪問し、引き続き読書環境の整備と朝読や調べ学習などの読書活動への支援を進めます。

情報機器類の急速な進化と普及により、情報収集や娯楽が容易になり、読書離れが問題となる中、図書館の利用価値を利用者と共に考え、時代にあった図書館機能の見直しを図ることが今後の課題です。

- (1) 所在地 美瑛町幸町1丁目1番10号
- (2) 休館日 月曜日、祝日、図書整理日、年末年始
- (3) 利用時間 10:00～18:00（毎水曜日のみ19:00）
- (4) 沿革 大正 5年 創立図書館 美瑛村農会内に開設 蔵書 200冊
戦中戦後 青年学級から美瑛中学校さらに公民館（西町1）に移転
昭和 33年 巡回文庫開始 分館単位
34年 公民館図書部となる 1,687冊
38年 公民館図書室（本町3）となる
49年 移動図書館「にちりん号」開始
52年 公民館が町民センターに移転、図書室が残る
54年 町開基80周年記念事業として大改修、1階に公民館附属
図書館開館 職員は公民館と兼任
63年 職員が専任となる
平成 2年 図書館条例制定し、美瑛町図書館となる
11年 移動図書館年度末をもって廃止
24年 現在地へ新築 6月オープン
26年 読書通帳機導入
令和 2年 図書消毒機導入

1. 蔵書数及び貸出数 (R4実績)

	年間受入冊数 (寄贈含む※)			蔵書合計			貸出冊数		
	内購入	内児童書	児童書	一般書	合計	児童書	一般書	合計	
総記	61	48	18	241	909	1,150	427	459	886
宗教・心理学	96	52	11	267	1,350	1,617	476	1,014	1,490
歴史・地理	156	122	24	892	3,138	4,030	1,635	1,697	3,332
社会・教育	265	175	61	714	3,466	4,180	865	1,673	2,538
理科・医療	187	160	70	1,540	1,968	3,508	2,426	1,835	4,261
工学・家政学	240	198	39	613	3,605	4,218	783	5,208	5,991
産業	90	76	16	435	1,722	2,157	396	1,116	1,512
芸術・スポーツ	144	88	26	883	3,257	4,140	1,531	1,595	3,126
言語	23	22	10	242	428	670	231	163	394
文学	1,152	948	259	7,392	21,942	29,334	6,103	15,415	21,518
絵本・紙芝居	407	370	407	9,808	0	9,808	13,511	0	13,511
雑誌	699	681	0	0	1,426	1,426	0	3,624	3,624
視聴覚	17	5	0	0	866	866	0	1,914	1,914
漫画	486	43	486	3,538	0	3,538	15,490	0	15,490
郷土資料等	43	6	0	0	3,612	3,612	0	241	241
合計	4,066	2,994	1,427	26,565	47,689	74,254	43,874	35,954	79,828

※寄贈図書の内訳 (雑誌等除く) ~1,054冊 (児童書527冊、一般書527冊)

受入雑誌種数 40種 受入新聞種数 6種

相互貸借 (他館協力) 貸し出し 187冊、借り受け 471冊

2. 利用状況 (開館日数・・・287日)

区分	児童	一般	団体	計	備考
登録者数 (人)	718	6,387	66	7,171	
延利用者数 (人)	4,182	11,805	462	16,449	1日平均利用者数 57.3人
貸出冊数 (冊)	25,003	46,440	8,385	79,828	1日平均貸出冊数 278.1冊
A Vコーナー利用者				403	
P Cコーナー利用者				672	

・新刊割合 (購入÷蔵書冊数) 4.0%

・蔵書回転率 (貸出÷蔵書) 107.5%

3. 図書館事業

- ・ 図書資料貸出
- ・ レファレンス
- ・ ブックスタート事業
- ・ 読書活動推進事業（展示、おはなし会、施設への貸出事業）
- ・ 図書館利用促進事業（壁面ギャラリー、古本市、図書館フェスティバル）
- ・ 学校支援事業
- ・ 読書通帳事業
- ・ 子どもの読書活動応援事業

4. 図書館協議会

（任期：R5.4.1～R7.3.31）

役 職	区 分	氏 名	備 考
会 長	文化団体	飯 田 博 志	
副会長	図書館ボランティア	小 北 千津子	おはなし会「あいあい」
委 員	学校関係	米 津 理 臣	美瑛東小学校
委 員	学識経験者	小 寺 利 典	
委 員	一般公募	鈴 木 眞 美	
委 員	一般公募	荒 明 千 春	

（敬称略）

令和5年度社会教育推進方針

今日の社会情勢や教育環境は日々変化し、少子高齢化や人口減少、急速な情報化や国際化、SDGsの視点から持続可能な社会の実現やゼロカーボンシティに向けた脱炭素化への取組など、多くの課題が存在しています。このような情勢の中、教育の基本である「ひとづくり」にとどまることなく、「地域の担い手づくり」や「つながりづくり」へと発展していくような継続的な学習の体制づくりが求められております。

そのためにも、「町民憲章」の実践に努め、第10次社会教育中期計画（令和3年度から令和7年度）に掲げる、「きっかけ」「つながり」「やりがい」の三つの柱が、効果的かつ積極的に実践されるように努めます。

社会教育推進目標の「何かをしたいと考え始めるきっかけ、何かをしたいときに始められるきっかけ、二つのきっかけを提供する」、「他者への思いやりやお互いを理解し合う豊かな心をつながりの中で育めるよう、さまざまな枠組みで交流の場を提供する」、「学習やスポーツなどに取り組む人が、やりがいを感じながら活動できるよう発表の場の提供や施設機能の整備と充実を図る」の三つの重要な柱を推進し、「はつらつとした学習活動の促進」、「家庭の教育力の向上への支援」、「地域子どもたちを育てる環境づくり」、「文化・スポーツ活動の推進」の視点から、町民の方々のニーズに応える事業に取り組むとともに、情報収集・提供に努めます。

1 はつらつとした学習活動の促進

学習活動の推進については、一人一人のニーズや住民課題に対応した事業の実施はもちろん、社会問題や地域課題に対応する事業展開も必要であり、幅広いプログラムの開発・提供を図る必要があります。多くの学習課題に対応するために、社会教育部門だけで実施するのではなく、関係機関や大学などとの連携による、事業実施や情報提供に努めます。

公民館事業としては、高齢者のはつらつとした人生の確立と社会参加を目的とする「すずらん大学」、成人対象の「大人カルチャースクール」や「いきがづくり講座」などを継続して実施し、新たな趣味の発見や仲間づくりの場の提供に努めます。

また、児童生徒対象の事業では、「少年少女道外研修」や自然体験・創作体験などのプログラムを実施し、集団活動をとおして主体性や自主性の育成に努めます。

さらには、芸術・文化活動の推進を図るため、町民センターの施設・設備の積極的な活用と各種団体やサークルの活動を支援し、より利用しやすい施設運営に取り組めます。

丘のまち郷土学館においては、「郷土の歴史についての学び」「自然についての学び」「未知なる宇宙についての学び」を美瑛学の柱とし、生物多様性やSDGsなどのキーワードを加えたさまざまな美瑛学プログラムの企画、実践に引き続き取り組めます。

十勝岳ジオパーク活動については、十勝岳ジオパーク推進協議会を主体として、ジオパークガイドの養成や防災教育などに引き続き取り組み、他のジオパーク地域の活動で得られた知見を生かし地域資源の保全活用及び魅力向上に努めます。

2 家庭の教育力の向上への支援

家庭教育は、子どもたちの健やかな育ちの基盤であり、すべての教育の出発点です。しかし、近年は地域とのつながりの希薄化や、親が身近な人から子育てについて学んだり、助け合う機会の減少など、子育てや家庭教育を支える社会環境が大きく変化しています。

このため、悩みを抱える親の子育て相談・情報提供など、きめ細かな家庭教育支援の充実が求められています。こうしたことから、今後も家庭の教育力の向上への支援に向け、行政間連携を図りながら、子どもの発達段階に応じた課題を踏まえた親と子のコミュニケーションをさらに深める地元食材を活用した食育講座の実施や、サークル等への支援を実施します。

3 子どもたちを育てる環境づくりと分館活動

社会環境の変化を背景に「地域教育力の低下」が指摘され、地域社会全体で子どもを育てる意識を持つことが強く求められており、地域教育力の向上は重要な課題です。

丘のまち郷土学館においては、子どもたちを対象としたジュニア美瑛学事業として、町の歴史、産業、自然などについて地域で活躍する大人から直接学ぶ機会を設け、郷土愛を育てるプログラムを実施します。

また、地域の子どもたちの安全を確保するため「子ども110番の家」設置の取組の拡大を継続して進めるとともに、各種団体の組織化や連携強化を目指した活動支援に努め、地域住民自らが、まちづくりに取り組むことのできる環境づくりを努めます。

地域教育力の向上については、公民館分館の果たす役割は大きなものがあります。分館がその地域に根ざした活動を推進できるよう、さまざまな手法を用いて活動を支援するとともに、地域の教育力向上のための環境づくりに努めます。

4 文化・スポーツ活動の推進

生活環境の変化や余暇時間の増加に伴い、人々は感動や生きる喜び、心の豊かさや活力と潤いある生活を築くための趣味や教養の向上、創作活動などの文化活動への関心が高まっています。

このような状況を踏まえ、文化活動推進のため、町民センター多目的ホール「美丘」の利用促進を図るとともに、芸術文化推進事業などを実施し、町民が広く文化・芸術に親しむことができる機会を提供します。

また、文化連盟・各種サークルなどに対しては、地域に根ざした文化活動の推進を図る観点から、一層の活性化に向け積極的に支援します。

健康づくりや体力向上については、町民のスポーツ活動への意欲や興味関心が高まっており、これらの活動が地域づくりにも大きな役割を果たしていることから、スポーツ振興は重要となっています。スポーツは、心身の健全な発達や健康及び体力の保持増進、また精神的な充足感の獲得など、体を動かす楽しさや喜び、健康増進や生きがいをもたらす、心身の健康の保持増進及び健康寿命の延伸が期待されます。

町民プールの運営については民間のノウハウを生かし、より町民にとって利用しやすい快適なサービスを提供することができるよう指定管理者制度を導入し、スポーツセンターとともに町民の健康づくりの拠点として活用されることが期待されます。今後も、幼児から高齢者まで幅広い年代の人が利用できるよう水泳教室や水中運動教室を通年開催するなど、身近にあるプールを積極的に使用し、健康や体力づくりに取り組むことができるような環境づくりを行います。

また、スポーツセンター及び各種社会体育施設の利用促進については、個人の利用促進と併せて各種スポーツ教室や講座を開催するとともに「びえい健幸♡嬉しい宣言事業」と連携しながら健康と運動の両面から取り組むことにより、町民がスポーツに親しみながら健康づくりができるきっかけづくりを行います。

**美瑛町社会教育委員兼公民館運営審議会
委員兼生涯学習推進委員**

(任期 R4. 4. 1~R6. 3. 31)

選出区分	氏名	備考
小学校	山田裕子	
中学校	大柄洋樹	
高等学校	天野潤也	
少年団体	石原啓吾	
青年団体	瀧田竜士	
婦人団体	西森郁子	
文化団体	高橋良彦	
体育団体	三野雅司	
学識経験者	佐藤憲明	
学識経験者	高橋徹	

美瑛町スポーツ推進委員

(任期 R4. 4. 1~R6. 3. 31)

氏名	備考
阿部健二	
江花恵	
小嶋仁人	
佐藤素明	
堀内加代子	
向雅明	
天野潤也	美瑛高等学校
五十嵐敬	美瑛中学校
伊藤睦郎	美瑛小学校
柿沼美紀	美瑛東小学校

美瑛町スポーツ教室運営委員

(任期 R4. 4. 1~R6. 3. 31)

選出区分	氏名	備考
スポーツ推進委員	阿部健二	
〃	江花恵	
〃	小嶋仁人	
〃	佐藤素明	
〃	堀内加代子	
〃	向雅明	
〃	天野潤也	美瑛高等学校
〃	五十嵐敬	美瑛中学校
〃	伊藤睦郎	美瑛小学校
〃	柿沼美紀	美瑛東小学校
旭地区推進委員	鴻上昌宏	
北瑛地区推進委員	只野達郎	
美田地区推進委員	杉山直人	
五稜地区推進委員	辻大輔	
西美地区推進委員	外山駿介	
美馬牛地区推進委員	平山智視	
美沢地区推進委員	橋本大輔	
明德地区推進委員	平松勇人	
俵真布地区推進委員	平川正昭	
宇莫別地区推進委員	浦孝弘	

美瑛町公民館 分館長・分館主事

分館名	分館長氏名	分館主事氏名	分館所在地	備考
旭	石崎一雄	大森茂	字旭北星	
北瑛	浦島規生	村形勇樹雄	字北瑛第2	
美田	山岸敬貴	水口征人	字美田第2	
五稜	早坂清彦	長谷川宏	字五稜第5	
二股	小西良廣	鎌上加代子	字二股富美	
西美	滝波陽一	成田敦志	字溜辺薬第2	
美馬牛	山田裕子	伊藤洋貴	美馬牛南2丁目2番58号 美馬牛小学校内	
美沢	温泉敏	荒井香織	美沢中央 美沢小学校内	
美進	山崎甲太郎	浜田猛詞	字下宇莫別朝日	
宇莫別	浦孝弘	稲川利昭	字中宇莫別第2	
明德	相馬美智枝	倉田淳生	字朗根内町内 明德小学校内	
俵真布	宮崎義松	及川勝	字俵真布中央	

美瑛町郷土学館運営協議会委員

(任期 R4. 4. 1~R6. 3. 31)

区分	氏名	備考
学識経験者	内藤美佐雄	美瑛町山岳会
学識経験者	藤原悟	美瑛町郷土史料保存会
学識経験者	金山達也	美瑛町教育研究会
学識経験者	山下達也	国立大雪青少年交流の家
公募	片山明	
公募	春澤秀之	

美瑛町青年会議役員

役職名	氏名	所属団体
会長	河村将寿	J A 青年部
副会長	植田邦弘	商工会青年部
会計	森谷拓磨	B B S
監事	佐々木 優	酪青研
	北村敬太	美青協

美瑛町婦人団体連絡協議会役員

役職名	氏名	所属
会長	西森郁子	婦人親交会
副会長	帯刀ルミ	商工女性部
	有富幸子	J A 女性部
会計	横山清子	ネットワークすずらん
書記	宇野佳子	商工女性部
	片山明美	ネットワークすずらん
監事	源津明美	婦人親交会
	藤田由美	婦人親交会

美瑛町少年団育成連絡協議会役員

役職名	氏名	育成会名
会長	石原啓吾	美沢
副会長	笠原裕介	美馬牛
会計	橋本奈歩	美沢
監事	嵯城裕美	東瑛
監事	中澤明美	美馬牛
事業部	鈴木義博	大町

美瑛町スポーツ協会役員

役職名	氏 名	備 考
会 長	齊 藤 幸 一	美瑛スキー連盟
副 会 長	三 野 雅 司	美瑛町バレーボール協会
	安 田 伸 幸	美瑛軟式野球連盟
理 事 長	佐 藤 誉 修	美瑛バスケットボール協会
副理事長	京 屋 孝 治	学識経験者
	佐 藤 衡 一	美瑛山岳会
会 計	岸 田 大	美瑛軟式野球連盟
監 事	和 氣 右 典	美瑛柔道連盟
	柴 田 崇 史	美瑛町バドミントン協会
理 事	梅 田 一 輝	美瑛町バドミントン協会
	平 間 克 哉	美瑛町バレーボール協会
	佐 藤 衡 一	美瑛山岳会
	木 本 一	美瑛相撲同志会
	岸 田 大	美瑛軟式野球連盟
	寒 藤 和 也	美瑛剣道連盟
	佐 藤 誉 修	美瑛バスケットボール協会
	増 山 和 則	美瑛町弓道連盟
	和 氣 右 典	美瑛柔道連盟
	米 田 浩 幸	美瑛スキー連盟
	大 沼 浩	美瑛ゲートボール連合
	見 田 仁 恵	学識経験者

社会教育・社会体育・学校開放施設一覧

施設名	住 所	面 積	施 設	内 容	用
社会教育					
町民センター	美瑛町寿町2丁目3-13	1,774 m ²	事務所1 会議室等10 ホール1 調理室1		
地域人材育成研修交流センター	” 字旭北星	1,441 m ²	宿泊室17(45床) 研修室2 事務室1 多目的室1 食堂1 浴室男女各1 体育館		
郷土学館	” 栄町4丁目1-1	533 m ²	事務室1 展示室3 学習体験室1 自主学習コーナー 天文コーナー 観察室		
図書館	” 幸町1丁目1-10	1,098 m ²	図 書 74,254冊		
社					
会					
体					
育					
美瑛町白金クレイ射撃場	美瑛町丸山1丁目	20,571 m ²	1周 400m 6コース		
ふれあい運動広場	” ”	900 m ²	屋根付		
美瑛町スポーツセンター	” 丸山2丁目1-1	1,285 m ²	25m×6コース(うち3コースは可動床) 幼児用(水深50cm) 乳幼児プール(水深10cm)		
	” 丸山1丁目1-8	1,004 m ²	10人立		
	” 字水上	11,918 m ²	18ホール(パ-66) L=959m		
	” 字新区画	36,000 m ²	18ホール(パ-66) L=913m		
	” みどり	15,647 m ²	18ホール(パ-66) L=1,000m		
	” 丸山2丁目	12,500 m ²	ダッグアウト 外野フェンス(両翼91m、中堅112m)		
	” 字大村村山	80,300 m ²	ロープトウ(1基135m) 夜間照明		
	” 字美沢川向	95,000 m ²	格納庫1棟		
	” 字美沢美生	166,000 m ²	トラップ射場 スキート射場 事務所兼研修施設1棟		
	” 字美瑛原野3線	23,279 m ²	硬式テニスコート6面 ゲートボールコート8面 多目的コート1面		
	” 丸山1丁目1-9	3,088 m ²	アリーナ(1,484m ²)バスケットボール2面 バレーボール2面 バドミントン8面 武道館(421m ²)226畳		
学校教育					
美瑛小学校体育館	美瑛町西町2丁目1-1	1,085 m ²	バスケットボール・バレーボール2面 バドミントン4面		
美馬牛小学校体育館	” 美馬牛南2丁目2-58	660 m ²	バスケットボール・バレーボール1面 バドミントン2面		
美沢小学校体育館	” 字美沢中央	679 m ²	バスケットボール・バレーボール1面 バドミントン3面		
明徳小学校体育館	” 字朗根内町内	763 m ²	バスケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン3面		
美瑛東小学校体育館	” 丸山2丁目8-15	805 m ²	バスケットボール・バレーボール1面 バドミントン3面		
宇莫別小学校体育館	” 字中宇莫別第2	405 m ²	バレーボール1面 バドミントン2面		
美瑛中学校体育館	” 字美瑛原野4線	1,201 m ²	バスケットボール・バレーボール2面 バドミントン6面		
美馬牛中学校体育館	” 美馬牛北3丁目7-1	771 m ²	バスケットボール1面 バレーボール2面 バドミントン3面		